

「論語」定期テスト対策練習問題②

年	組	番	名前
---	---	---	----

次の章句について、問1～7に答えなさい。

子日はく、^ア故きを温めて新しきを知れば、
 こと。

子日^{ハク}、^イ温^メ故^キ而^シ知^レ新^シキヲ、
 可^ウ以^ヘニ^レ為^ル師^ト矣。

問1 線ア「温めて」の読みを答えなさい。

問2 線ア「故きを温めて」のもつ意味を次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：過去の歴史や事柄を心に留めて
- イ：過去の経験で得た知識を振り返って
- ウ：過去の事柄や学説を重ねて研究して
- エ：過去の歴史や学説を真似して



問3 書き下し文「故きを温めて新しきを知れば」となるように、線イの「温 故 而 知 新」に返り点をつけなさい。

温 故 而 知 新

問4 この章句には、書き下し文にしたり、読む時に無視してもよい漢字がある。その漢字を二つ、漢文中より書き抜きなさい。

問5 線ウについて、□に当てはまる書き下し文を書きなさい。

問6 この章句の伝えたい内容として、もっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：過去の出来事から、これから起こることまでを知ることができれば、師としての素質は十分である。
- イ：過去の出来事や学説を十分に研究し、そこから新たな知識や発見を得られるようになれば、師となる資格があるといえる。
- ウ：過去の出来事や学説は、師としての素質を備えた人物が残したものだから、真似をすれば新たな出来事にも対応できる。
- エ：過去の出来事や学説にとらわれずに、新しい知識や発見を得られるように努力することが、師としての素質を備えることになる。

問7 この章句から、ある四字熟語が作られたが、なんという四字熟語か答えなさい。



次の章句について、問8～11に答えなさい。

子曰はく、「学びて思はざれば則ち罔し。思ひて学ばざれば則ち殆し。」と。

子曰ハク「ウ学而不思則罔。思而不学則殆。」

問8 線アの読みを答えなさい。

問9 線イの読みを現代仮名遣いで答えなさい。

問10 書き下し文「学びて思はざれば則ち罔し」になるように、線ウ「学 而 不 思 則 罔」に返り点をつけなさい。

学 而 不 思 則 罔



問11 この章句の伝えたい内容としてもっとも適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：学びたいと思わなければもちろんのこと、思っても結局学ばなければ、ほとんど知識を得ることはできない。
- イ：深く考えて研究しないと、物事の道理を確実に理解することはできないし、自分の考えだけに頼ってしまうことは危険なことである。
- ウ：学んだことも、しっかりと復習をしなければそれは理解していないのと同じく、そのように理解しないままの知識は、大変危険である。
- エ：学ぶだけでなく、実際に考えてみることも大切で、その関係は切っても切り離せないものである。

次の章句について問12～15に答えなさい。

子曰はく、
 これを知る者はこれを好む者に如かず。
 これを好む者はこれを樂しむ者に如かず。と。

ア

子曰ハク知ル之ヲ者、不ハ如シム之ヲ者。
 好ム之ヲ者、不レ如シム之ヲ者。

問12 線アの読みを答えなさい。



問13 「これを好む者にしかず」の口語訳として、もっとも適切なものを次の中から
選び○で囲みなさい。

- ア：これを好む者には敵わない
- イ：これを好む者に違いない
- ウ：これを好む者ではありえない
- エ：これを好む者とは合わない

問14 書き下し文「これを好む者に如かず」になるように、線イ「不 如 好 之
者」に返り点をつけなさい。

不 如 好 之 者

問15 この章句では、「これを知る者」「これを好む者」「これを楽しむ者」の優劣
について述べられているが、一番優れているとされるものは3つのうちどれか答え
なさい。



「論語」定期テスト対策練習問題②（解答）

問1 あた（めて）

問2 ウ

問3 温_レ故 而 知_レ新

問4 而・矣

問5 もつて師たるべし

問6 イ

問7 温故知新

問8 くら（し）

問9 あやう（し）

問10 学 而 不_レ思 則 罔

問11 イ



問 | 2 し (かず)

問 | 3 ア

問 | 4 不_レ如_二好_レ之_一 者_一

問 | 5 これを楽しむ者

